

2022 年度(令和 4 年度)
事業計画書及び収支予算書

自 2022 年 3 月 1 日
至 2023 年 2 月 28 日

公益社団法人 日本金属学会

〒980-8544 仙台市青葉区一番町一丁目 14 番 32 号

TEL 022-223-3685 FAX 022-223-6312

目 次

■ 2022年度(令和4年度)事業計画書

I.事業の計画

1. 基本方針 1
2. 学術誌及び学術図書類の刊行(定款第5条第1号) 2
3. 学術講演会及び学術講習会の開催(定款第5条第2号) 3
4. 学術に関する調査及び研究(定款第5条第3号) 6
5. 学術に関する表彰及び奨励(定款第5条第4号) 9
6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第5条第5号) . 11

II.庶務の計画

1. 2022年度事業に関わる諸会議および諸集会 11

■ 2022年度(令和4年度)収支予算書

特記事項

- I. 収支予算書 13
- II. 収支予書内訳表 16

■ 資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類 19

公益社団法人 日本金属学会
2022年度(令和4年度)事業計画書
2022年3月1日から2023年2月28日まで

I. 事業の計画

1. 基本方針

- ①2022年度は公益社団法人としての10年目の事業年度であり、引き続きセルフガバナンスに基づいて、公益目的事業を公正かつ適切に推進する。
- ②刊行事業については、機関誌3誌の刊行を推進する。まてりあは、入門講座や講義ノートに加え、実学講座等により学術および技術の記事を充実させる。さらに、金属を中心として広範な材料に関する記事を知りたいときに必ず手に入る情報誌であることを実現させるために、誌面や記事構成の更新等を推進する。日本金属学会誌は、日本語で書かれた最新知見の発信や高度な専門性のある提案・意見交流・学理追求の場として維持向上を図るために、積極的な投稿勧誘やReviewやOverviewの和訳掲載等を推進する。Materials Transactionsは、日本の代表的な材料系英文論文誌でありつづけるよう、より一層高度化するとともに、インパクトファクターの更なる向上を目指し、特集やReview, Overview, Current Trends in Researchの掲載や査読の厳格化等によって掲載論文の質を向上させる。さらに、質の高い論文が掲載されていることの周知や被引用数の多い論文の著者への認定等の掲載論文引用の促進、掲載論文引用の積極的な要請等の施策を推進する。また、共同刊行における編集の一体化を推進する。学術図書類は、理数探求科目履修支援のためのコンテンツの制作を推進する。
- ③講演会・講習会事業については、with/post コロナ時代に即した事業の形態を検討していく。最新の研究や技術を発信し、大学・企業・研究所を越えた多様かつ多くの研究者や技術者が集い交流する魅力ある講演大会を目指して、オンラインを活用した新しい講演大会等の開催を検討するとともに、魅力ある公募ならびに企画シンポジウムの開催や他学協会との連携企画の拡充等の施策を推進する。基礎から最新の研究や技術までを学べるセミナーやシンポジウムの開催や次世代を担う人材の教育と育成に貢献するオンラインの教育講座の開催を開始するとともに、高校生・高専生が材料の魅力を理解するための機会を作る。また、会員の活発な交流や材料分野での人材育成をより一層推進する。
- ④調査・研究事業については、我が国の材料科学を先導していくことを目指し、再編した分科による活動を推進する。また、研究会や若手研究グループに加えて、分野を超えた取り組みを強化すべき課題に対して産・学・官が連携して取り組んでいくことを目的とした産学協創研究会の活動を開始する。若手研究者を対象として開始した研究助成事業の周知と活性化を行う。金属及び関連材料に興味を持つ若い世代を育てることを目指し、学校教育の支援や青少年向けイベントの開催、若手交流等の人材育成に関する事業を拡充する。国際学術交流は、従来からの取り組みに加えて、秋期講演大会における国際セッションの開催を推進する。男女ともに学会で活躍できる環境作りのために男女共同参画事業を行う。
- ⑤表彰・奨励事業については、若手や民間企業の研究者・技術者を含め多様な層への授賞を推進する。
- ⑥学会の活動を広く世間に周知するために、新ロゴマークの普及、SNSやWebを用いた情報発信等の広報活動を積極的に推進する。パンフレット等によるアウトリーチ活動を推進する。
- ⑦庶務については、引き続き法令等および本会の定めに則り、公正かつ適切に行う。
- ⑧会計については、引き続き最新の公益法人会計基準および公益認定等ガイドライン等に則り、公正かつ適切に行う。

2. 学術誌及び学術図書類の刊行(定款第5条第1号)

(1) 日本金属学会会報「まてりあ」

①発行

発行月日：2022年3月から2023年2月までの各月の1日

発行巻号：第61巻3号から第62巻2号までの12冊

発行部数：5100部

掲載頁数：55頁

電子ジャーナル：毎号発行

②巻頭記事(サイエンスライター記事)

- ・第61巻 4号、8号、12号

③特集等

- ・第61巻 7号 特集 材料変形と腐食 7編程度
- ・第61巻 9号 特集 ミルフィーユ材料における多様なキンク現象 8編程度
- ・第61巻 11号 特集 第7分野担当 5編程度
- ・第62巻 1号 特集 第8分野担当 5編程度
- ・第62巻 第1、2号 新技術・新製品特集 8編程度

④特記事項

- ・まてりあを魅力ある会報とするために、実学講座、よくわかる!ピンポイント講座、思い出の教科書、この1冊!、科学館めぐり、“あのころ”のまてりあ、金属素描・金属なんでもランキング等の企画の掲載を継続するとともに、オンラインカラー化を推進する。また、講義ノートや入門講座の掲載を充実させる。
- ・年間掲載スケジュールを作成して計画的な編集を行うとともに、紙面の体裁や記事構成の更新を推進する。

(2) 日本金属学会誌

①発行

発行月日：2022年3月から2023年2月までの偶数月の1日

発行巻号：第86巻3号4号合冊から第87巻1号2号合冊までの6冊

発行部数：290部

掲載頁数：50頁

電子ジャーナル：毎号25日に発行

②特集

- ・第86巻4、5号 特集「2021年秋期大会講演精選論文」 5編程度
- ・第86巻9号 特集「次世代エレクトロニクスのための金属材料の最先端」 20編程度
- ・第86巻10、11号 特集「2022年春期大会講演精選論文」 5編程度
- ・第86巻11号 特集「固体中の水素と材料特性V」 3編程度

③特記事項

- ・掲載論文数の確保が見込めないため、冊子は2号を合冊して偶数月に刊行する。
- ・オーバービュー、レビューの投稿勧誘を継続する。
- ・特集紹介論文のカテゴリー「最新の研究動向」の論文を掲載し、引用を促進する。
- ・欧文誌掲載論文の和訳掲載を推進する。
- ・学生を対象とした論文の投稿勧誘を継続する。

(3) Materials Transactions

①発行

発行月日：2022年3月から2023年2月までの各月の1日

発行巻号：Vol. 63 No. 3号からVol. 64 No. 2までの12冊

発行部数：190部

掲載頁数：150頁

電子ジャーナル：毎号25日に発行

②特集

- ・ Vol. 63 No. 4 特集「Structural Analysis and Measurements of Physical Properties on Advanced and Fundamental Materials」 15編程度
- ・ Vol. 63 No. 4、5 特集「Selected Papers from JIM Fall Meeting 2020」 5編程度
- ・ Vol. 63 No. 6 特集「Frontier Research on Bonding and Interconnect Materials for Electric Components and Related Microprocessing -Part III-」 10編程度
- ・ Vol. 63 No. 10 特集「Integrated Computer-Aided Process Engineering (ISIMP 2021)」 10編程度

- ・ Vol. 63 No. 10、11 特集「Selected Papers from JIM Spring Meeting 2021」 5編程度
- ・ Vol. 63 No. 12 特集「Recent Research and Development in the Processing, Microstructure, and Properties of Titanium and its Alloys」 10編程度

③特記事項

- ・ インパクトファクター向上を目指した施策を推進する。
- ・ 特集企画提案を積極的に勧誘し、実施する。
- ・ Review、Overviewの投稿勧誘を継続する。
- ・ 特集を紹介する「Current Trends in Research」カテゴリーの論文掲載や高被引用論文の公開や被引用数の多い論文の著者にTop Cited Paper Certificateを発行することを継続し、引用を促進する。
- ・ 査読の質を向上させることを目的に、Best Reviewer Certificateを発行する。
- ・ 著者選択フリーダウンロードサービス（投稿・掲載費用に追加することにより、公開後即フリーアクセスとするサービス）及び引用の見込まれる論文のフリーダウンロードを継続する。
- ・ すべての論文のGraphical Abstractを掲載することを継続する。
- ・ 共同刊行学協会で統一した投稿・査読プロセスを使用するとともに、編集方針の統一化を推進する。

(4) 学術図書類

- ①既刊図書の電子化および公開
- ②理数探求用動画の制作

3. 学術講演会及び学術講習会の開催(定款第5条第2号)

(1) 講演大会

- ①講演大会委員会：4回（2022年3月、5月、9月、11月）
 - a. 春秋講演大会の業務執行の協議を行なう。
- ②講演大会企画委員会：2回（2022年7月、2023年1月）
 - a. 講演大会に関する企画および運営の協議を行う。
 - b. 春秋講演大会のプログラム編成を行う。
 - c. 講演大会活性化施策を推進する。
- ③春期(第170回)大会
 - ・ 口頭発表：2022年3月15日～17日、オンライン
 - ・ ポスターセッション：2022年3月21日、オンライン
 - a. 大会参加者数：1,000人(予定)
 - b. 講演発表件数：685件(予定)
 - c. 講演種別：一般講演、公募シンポジウム、企画シンポジウム、ポスターセッション（高校生・高専生ポスター含む）、日本金属学会・日本鉄鋼協会共同セッション、受賞記念講演
 - d. 付設展示会セミナー(オンライン)、技術セミナー(オンライン)、学生キャリアサポートセ

ミナー(オンライン)

e. 講演概要集(ダウンロード) 2022年3月1日公開予定

④秋期(第171回)大会

- ・2022年9月20日～23日、福岡工業大学(福岡市)
 - a. 大会参加者数：1,500人(予定)
 - b. 講演発表件数：1,000件(予定)
 - c. 講演種別：一般講演、公募シンポジウム、企画シンポジウム、ポスターセッション(高校生・高専生ポスター含む)、日本金属学会・日本鉄鋼協会共同セッション、受賞記念講演、国際セッション
 - d. 第20回World Materials Day Award展示
 - e. 付設展示会、ランチョンセミナー
 - f. 講演概要集(ダウンロード) 2022年9月4日発行予定

⑤特記事項

- a. 秋期大会において、第1回国際セッションを開催する。

(2) セミナーおよびシンポジウム

①セミナー・シンポジウム委員会：4回(2022年3月、7月、9月、2023年1月)

- ・講習会、セミナーおよびシンポジウムを企画・推進する。

②シンポジウム(4件)

- 1) ミルフィーユ構造の材料科学：最新の研究動向(仮)
 - ・開催時期：未定、開催場所：未定
- 2) 電気化学インピーダンス測定・解析の基礎と応用；電池反応から腐食まで
 - ・開催時期：未定、開催場所：未定
- 3) タングステン材料科学
 - ・開催時期：未定、開催場所：未定
- 4) カーボンニュートラル・水素社会実現に向けた触媒材料の研究・開発の最新動向
 - ・開催時期：未定、開催場所：未定

③セミナー(1件)

- 1) (特別講座)材料における拡散
 - ・開催時期：未定、開催場所：オンライン

④基礎講座(5件)

- 1) 結晶学の基礎
- 2) 状態図・相平衡・拡散の基礎講座
- 3) 材料強度の基礎
- 4) 金属材料の耐環境性(1)；水溶液腐食の基礎 -平衡論・速度論-
- 5) 金属製錬の熱力学
 - ・いずれも開催時期：未定、開催場所：未定

(3) 国内学協会共催講演会

- ・国内他学協会からの依頼により講演会を共催する。

(4) 国際会議および国際シンポジウム

- ・主催はない。

(5) 支部講演会および講習会(他学協会等との共催を含む)

①北海道支部

- ・サマーセッション・特別講演会(日本鉄鋼協会と合同開催)
 - 1回：2022年7月 北海道大学(札幌市)、発表件数50件、参加予定80名
- ・冬季講演大会・特別講演会(日本鉄鋼協会と合同開催)

- 1回：2023年1月、室蘭工業大学（室蘭市）、発表件数50件、参加予定100名
- ・本多光太郎記念講演会（本多記念会と共催）
 - 1回：2023年1月、場所未定、講演1件、参加予定100名
- ・支部学術講演会
 - 3回：2022年5月、北海道大学（札幌市）、講演1件、参加予定40名
 - 2022年8月、室蘭工業大学（室蘭市）、講演1件、参加予定40名
 - 2022年12月、北海道大学（札幌市）、講演1件、参加予定40名
- ②東北支部
 - ・支部講演会
 - 1回：2022年12月、岩手大学（盛岡市）、参加予定50名
- 本多光太郎記念講演会（本多記念会と共催）
 - 1回：開催未定、（今後本多記念会理事会等で審議し、決定）
- ・地区特別講演会
 - 10回程度：開催時期・場所・講演数・参加予定者数未定
- ・講習会（子供科学キャンパス）
 - 3回：2022年8月4日～5日 東北大学（仙台市） 夏休み子ども科学キャンパス 200名
 - 2022年7月17日 東北大学（仙台市）学都仙台・宮城 サイエンスデイ10,000名
 - 2022年10月11日～12日 東北大学（仙台市）秋休み子ども科学キャンパス 200名
- ③関東支部
 - ・本多光太郎記念講演会（本多記念会と共催）
 - 1回：2022年12月、場所未定、講演1件、参加予定10名
 - ・講習会
 - 2回：2022年11月～12月（全5回）、場所未定、テーマ未定、参加予定50名
 - 2022年12月、場所未定、“これをマスターすれば中級者になれる！”シリーズ講義及び実習、参加予定10名
- ④東海支部
 - ・支部講演大会
 - 1回：2022年10月、若手研究者による材料フォーラム、場所未定、講演数80件、参加予定130名
 - ・本多光太郎記念講演会（本多記念会と共催。湯川記念講演会との合同開催）
 - 1回：2022年11月、場所未定、講演2～4件、参加予定130名
 - ・特別講演会
 - 2回：2022年3月、場所未定、講演1件、参加40名予定
 - 2022年10月（若手研究者による材料フォーラムと共同開催）、場所未定、講演1件、参加予定130名
 - ・湯川記念講演会（日本鉄鋼協会と共催。本多光太郎記念講演会との合同開催）
 - 1回：2022年11月、場所未定、講演2～4件、参加予定130名
 - ・技術交流フォーラム（学術討論会との共同開催）
 - 1回：2023年1月、場所未定、講演数2～4件、参加80名予定
 - ・談話会
 - 2回：開催時期未定、金属材料談話会、場所未定、参加予定40名
 - 開催時期未定、材料プロセッシング談話会、場所未定、参加予定40名
 - ・学術討論会（技術交流フォーラムとの共同開催）
 - 1回：2023年1月、場所未定、講演数2～4件、参加予定80名
- ⑤北陸信越支部
 - ・支部連合講演会（日本鉄鋼協会と合同開催）
 - 1回：2022年12月、場所未定（石川県）、講演150件、参加予定200名
 - ・本多光太郎記念講演会（本多記念会と共催）

- 1回：2022年12月、場所未定（石川県）、参加予定200名
- ・地区特別講演会（日本鉄鋼協会と共催）
 - 2回：2022年7月、ANAクラウンプラザホテル（富山市）、講演2件、参加予定70名
 - 2022年6月、金沢大学（金沢市）、講演1件、参加予定50名
- ・講習会
 - 2回：2022年6月、長野県工業技術センター（長野市）、参加予定70名
 - 2022年12月、信州大学（長野市）、参加予定70名
- ⑥関西支部
 - ・本多光太郎記念講演会（本多記念会と共催）
 - 1回：2022年9月、（一財）大阪科学技術センター（大阪市）、講演1件、参加予定30～40名
 - ・湯川記念講演会（日本鉄鋼協会と共催）
 - 2回：2022年4月、（一財）大阪科学技術センター（大阪市）、講演1件、参加予定30～40名
 - 2023年1月、（株）神戸製鋼所、講演1件、参加予定30～40名
 - ・材料セミナー
 - 3回：2022年10～12月、オンラインセミナー、「放射光による組織観察・分析の基礎と応用」、参加予定15名
 - 2022年10～12月、オンラインセミナー、「技術者のための鉄鋼材料入門」、参加予定40名
 - 2022年10～12月、オンラインセミナー、「材料科学におけるマテリアルズ・インフォマティクスの最近の発展」、参加予定40名
- ⑦中国四国支部
 - ・支部講演大会（日本鉄鋼協会と共催）
 - 1回：春／夏期大会 2022年8月、鳥取大学（鳥取市）、発表件数50件、参加予定70名
 - ・本多光太郎記念講演会（本多記念会と共催）
 - 2回：2022年3月、オンライン（広島市）、講演1件、参加予定40名
 - 2022年8月、鳥取大学（鳥取市）、講演1件、参加予定70名
- ⑧九州支部
 - ・春季講演会（日本鉄鋼協会と合同開催）
 - 1回：2022年3月、日本製鉄㈱九州製鉄所【八幡地区】人材育成センター（北九州市）、発表件数4件、参加予定70名
 - ・秋季講演会（日本鉄鋼協会と合同開催）
 - 1回：2022年10月、熊本大学（熊本市）、発表件数4件程度、参加予定40名
 - ・本多光太郎記念講演会（本多記念会と共催）
 - 1回：2022年10月、熊本大学（熊本市）、講演1件、参加予定40名
 - ・材料科学談話会
 - 1回：2022年3月～2023年2月、場所未定、講演件数未定、参加数未定
 - ・材料プロセス談話会
 - 1回：2022年3月～2023年2月、場所未定、講演件数未定、参加数未定
 - ・学術講演会
 - 1回：2022年6月、北九州国際会議場（北九州市）、発表件数100件、参加予定200名

4. 学術に関する調査及び研究（定款第5条第3号）

（1）研究会（継続9テーマ、新規1テーマ）

①継続テーマ

研究会番号	研究会名
72	水素化物に関わる次世代学術・応用展開研究会
75	キンク研究会
78	触媒材料の金属学研究会
80	高エネルギー環境用材料評価研究会

- | | |
|----|-----------------------------|
| 81 | 材料機能特性のアーキテクチャー研究会 |
| 82 | 微小領域の力学特性評価とマルチスケールモデリング研究会 |
| 83 | 高温材料の変形と破壊研究会 |
| 84 | ソフト磁性研究会 |
| 85 | 状態図・計算熱力学研究会 |
- ②新規テーマ
- | | |
|-------|----------------------------|
| 研究会番号 | 研究会名 |
| 86 | 結晶性材料の結晶配向評価および結晶方位解析技術研究会 |

(2) 産学協創研究会(新規4研究会)

①新規グループ

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | 金属アディティブ・マニファクチュアリング研究会 |
| 2 | カーボンニュートラル研究会 |
| 3 | 新材料・新機能創製研究会 |
| 4 | マテリアルズインテグレーション(MI)研究会 |

(3) 若手研究グループ(新規1グループ)

①継続グループ

なし

②新規グループ

- | | |
|---|---|
| 7 | CO ₂ ゼロエミッション社会に向けた耐環境構造金属材料研究グループ |
|---|---|

(3) 研究助成(金属学会フロンティア研究助成)

- ・案件の募集を行い、採択案件(10件予定)を決定し、助成金を交付する。

(4) 調査研究委員会

①調査研究委員会：2回(2022年3月、2022年9月)

- ・調査・研究に関する業務執行の協議を行う。

②調査研究推進委員会：2回(2022年7月、2023年1月)

- ・調査・研究に関する事業の活性化を推進する。

③第1～9分科の活動

- ・各分科での活動を推進する。

(5) 他の委員会活動

①企画委員会

- ・学会の魅力向上及び会員増加に向けた運営課題の検討と施策を企画・推進する。

②セルフガバナンス委員会

- ・コンプライアンス遵守を推進する。

③長期展望委員会

- ・事務局に係る検討を行なう。

④戦略推進委員会

- ・関連学協会との連携を推進する。

⑤科研費委員会

- ・科学研究費補助金に関する情報収集を継続する。

⑥人材育成委員会

- ・学校教育の支援や青少年向けイベントの開催を推進する。
- ・若手交流等の人材育成に関する事業を拡充する。

⑦男女共同参画委員会

- ・男女共同参画委員会（日本鉄鋼協会と合同）：2022年3月、2022年9月
 - ・女性会員の集い：2022年9月
 - ・15周年ミニシンポジウムを開催する（2022年3月17日 オンライン）。
- ⑧国際学术交流委員会
- ・TMS、KIM、IOMMS、ASM International等の海外学協会・団体との交流事業を推進する。
 - ・2022年秋期講演大会において国際セッションを開催する。

(6) 支部研究会等活動

①東北支部

- ・支部研究発表大会
1回：2022年11月、日本大学(郡山)、参加予定100名

②関東支部

- ・ヤングメタラジスト研究交流会
1回：2022年10月、場所未定、参加予定30名

③東海支部

- ・若手材料研究会
1回：2022年11月、開催場所未定、参加予定80名
- ・若手冶金エンジニア研究会(技術交流フォーラムと共同開催)
1回：2022年11月、開催場所未定、参加予定80名

④北陸信越支部

- ・材料研究会
2回：2022年10月、富山大学(富山市)、参加予定50名
2023年2月、富山大学(富山市)、参加予定50名
- ・材料フォーラム
2回：2022年3月、めがね会館(鯖江市)、参加予定50名
2023年2月、めがね会館(鯖江市)、参加予定50名
- ・ものづくり教育
1回：2022年9月、長岡技術科学大学(長岡市)、たたら製鉄実演、参加予定90名

⑤関西支部

- ・材料物性工学談話会
2回：2022年5月～2023年2月、開催場所未定、参加予定25～80名
- ・鉄鋼プロセス研究会
2回：2022年5月～2023年2月、開催場所未定、参加予定25～80名
- ・マテリアルデザイン研究会
5回：2022年5月～2023年2月、開催場所未定、参加予定25～80名
- ・関西分析研究会
2回：2022年5月～2023年2月、開催場所未定、参加予定25～80名
- ・材料化学研究会
2回：2022年5月～2023年2月、開催場所未定、参加予定25～80名

⑥中国四国支部

- ・金属物性研究会
3回：2022年4月～2023年2月、開催場所未定、各回参加予定30名
- ・材質制御研究会
3回：2022年4月～2023年2月、開催場所未定、各回参加予定30名
- ・若手フォーラム
3回：2022年4月～2023年2月 開催場所未定 参加予定40～100名

(7) 支部見学会活動

①関東支部

- ・支部見学会
1回：2022年10月、場所未定、参加予定30名
- ②関西支部
 - ・支部見学会
1回：2023年1月、(株)神戸製鋼所、テーマ未定、参加予定30～40名

(8) 国内学協会連携活動

- ①日本学術会議
 - ・理学・工学系学協会連絡協議会に参加し、情報交換を行う。
 - ・材料連合協議会に参加し、材料系学協会との情報交換を行なう。
- ②日本工学会
 - ・事務研究委員会に参加し、情報を収集する：8回。
 - ・理事会に出席する：3回。
- ③材料戦略委員会
 - ・関連学協会と共同で材料分野の理解活動を推進する。
- ④技術者教育制度認定活動
 - ・JABEE(日本技術者教育認定機構)活動に協力する。
 - ・ISIJ-JABEE委員会にオブザーバー参加する：2回。
- ⑤全国大学材料関係教室協議会
 - ・オブザーバー参加する：2回。
- ⑥男女共同参画活動
 - ・男女共同参画学協会連絡会活動へ参加する。
 - ・(一社)日本鉄鋼協会との合同男女共同参画委員会活動を推進する。

(9) 国際学協会連携活動

- ①IOMMS(International Organization of Materials, Metals & Minerals Societies)
 - ・第20回World Materials Day(2022年11月2日)に合わせて、World Materials Day Award Winnerを授賞する。
- ②大韓金属・材料学会(KIM:The Korean Institute of Metals and Materials)
 - ・本会代表をKIM年次総会へ派遣する。なお、2022年春期大会へのKIM代表招待は見送る。
 - ・第21回KIM-JIMシンポジウムをKIM主催で2022年10月のKIM秋期講演大会において開催する。
- ③TMS(The Minerals, Metals and Materials Society)
 - ・JIM/TMS Young Leader International Scholar Program交流を推進する。
2022年9月に本会2022年秋期講演大会にTMSからの派遣者3名を受け入れる。
2023年3月のTMS2023年次大会へのJIM派遣者1名を決定する。
- ④ASM International
 - ・ASMコンテンツの割引購入の継続および国際セッションへの招待を開始する。

5. 学術に関する表彰及び奨励(定款第5条第4号)

(1) 名誉員および各種賞授賞者ならびにフェロー等の選考委員会

選考委員会	開催数	備考
名誉員検討委員会	1	
各種賞検討委員会	6	
学会賞選考委員会	1	第67回授賞選考
村上記念賞選考委員会	1	第19回授賞選考
技術賞選考委員会	1	第63回授賞選考
増分量賞選考委員会	1	第28回授賞選考
谷川・ハリス賞選考委員会	1	第61回授賞選考

功績賞選考委員会	1	第79回授賞選考
研究技能功労賞選考委員会	1	第53回授賞選考
村上奨励賞選考委員会	1	第19回授賞選考
奨励賞選考委員会	1	第32回授賞選考
技術開発賞選考委員会	1	第45回授賞選考
金属組織写真賞選考委員会	1	第72回授賞選考
論文賞選考委員会	1	第70回授賞選考
新進論文賞選考委員会	1	第2回授賞選考
まてりあ賞選考委員会	1	第12回授賞選考
優秀ポスター賞選考委員会	2	第38、39回授賞選考
高校・高専学生ポスター賞選考委員会	2	第7、8回授賞選考
奨学賞選考委員会	1	第30回授賞選考
フェロー選考委員会	1	第6回フェロー選考
他機関の各種学術賞、奨励金等推薦	随時	

(2) 名誉員推戴

- ① 名誉員推戴 2022年3月15日

(3) 各賞贈呈

- ① 第67回学会賞 2022年3月15日
- ② 第19回村上記念賞 2022年9月21日 福岡工業大学(福岡)
- ③ 第63回技術賞 2022年3月15日
- ④ 第28回増本量賞 2022年3月15日
- ⑤ 第61回谷川・ハリス賞 2022年3月15日
- ⑥ 第80回功績賞 2022年3月15日
学術部門、技術部門
- ⑦ 第53回研究技術功労賞 2022年3月15日
- ⑧ 第19回村上奨励賞 2022年9月21日 福岡工業大学(福岡)
- ⑨ 第32回奨励賞 2022年9月21日 福岡工業大学(福岡)
学術部門、技術部門
- ⑩ 第45回技術開発賞 2022年9月21日 福岡工業大学(福岡)
- ⑪ 第72回金属組織写真賞 2022年3月15日
第1部門(光学顕微鏡部門)、第2部門(走査電子顕微鏡部門)、第3部門(透過電子顕微鏡部門)、第4部門(顕微鏡関連部門)
- ⑫ 第70回論文賞 2022年9月21日 福岡工業大学(福岡)
物性部門、組織部門、力学特性部門、材料化学部門、材料プロセッシング部門、工業材料部門
- ⑬ 第1回新進論文賞 2022年9月21日 福岡工業大学(福岡)
会誌部門、欧文誌部門
- ⑭ 第12回まてりあ賞 2022年9月21日 福岡工業大学(福岡)
まてりあ論文賞、まてりあ啓発・教育賞
- ⑮ 第38回優秀ポスター賞 2022年3月22日
(各所属機関・学科において贈賞)
- ⑯ 第39回優秀ポスター賞 2022年9月21日 福岡工業大学(福岡)
(各所属機関・学科において贈賞)
- ⑰ 第7回高校・高専学生ポスター賞 2022年3月22日
(各校において贈賞)

- ⑱第8回高校・高専学生ポスター賞 2022年9月21日 福岡工業大学(福岡)
(各校において贈賞)
- ⑳第30回日本金属学会・日本鉄鋼協会奨学賞 2022年3月各大学卒業時実施
(各学科等において贈賞)
- ㉑第20回World Materials Day Award 2022年11月2日 各所属機関において贈賞
最優秀賞、部門賞(3部門)

(4) フェロー認定

- ①フェロー認定 2022年3月15日

(5) 支部表彰事業

- ①北海道支部
 - ・サマーセッション奨励賞 2022年7月 室蘭工業大学(室蘭市)、受賞者3名
 - ・冬季講演大会奨励賞 2023年1月 北海道大学(札幌市)、受賞者3名
- ②東北支部
 - ・学生ポスター賞(支部研究発表大会) 時期・場所未定
- ③関東支部
 - ・ヤングメタラジストポスター賞 2022年10月 場所未定 受賞者3名
- ④東海支部
 - ・支部表彰(若手研究者による材料フォーラム) 2022年11月 場所未定 受賞者10名
- ⑤北陸信越支部
 - ・支部功績賞 2022年12月 場所未定(石川県) 受賞者1名
 - ・連合講演会学生優秀発表表彰 2022年12月 場所未定(石川県) 受賞者5名
- ⑥中国四国支部
 - ・支部長賞 2022年12月 場所未定(岡山市) 受賞者約1名
 - ・講演大会優秀学生賞 2022年12月 場所未定(岡山市) 受賞者約4名
- ⑦九州支部
 - ・支部長表彰(ポスター優秀発表者) 2022年6月 九州大学(春日市) 受賞者15名程度
 - ・支部長表彰(優秀学生) 2022年3月 表彰者の在学で授賞 受賞者数未定
 - ・久留米工業高等専門学校中学生向け公開講座の後援 2022年8月

6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第5条第5号)

庶務の項に記載

II. 庶務の計画

1. 特記事項

- ①セルフガバナンスに基づき、規程類の見直しを継続する。
- ②広報活動を推進する。
 - ・新ロゴマークの普及, SNSやWebを用いた情報発信等の広報活動を積極的に推進する。パンフレット等によるアウトリーチ活動を推進する。

2. 2022年度事業に関わる諸会議および諸集会

(1) 本会単独事業

法定機関および任意の合議機関の諸会議	開催回数
社員総会(定時1回)	1
理事会	7
会報編集委員会	6

会誌編集委員会	6
欧文誌編集委員会	6
学術図書類刊行委員会	1
講演大会委員会	4
講演大会企画委員会	2
本多記念講演委員会	1
セミナー・シンポジウム委員会	2
企画委員会	6
長期展望委員会	1
セルフガバナンス委員会	1
調査研究委員会	2
調査研究推進委員会	2
戦略推進委員会	1
科研費委員会	1
人材育成委員会	1
男女共同参画委員会	2
国際学術交流委員会	1
名誉員検討委員会	1
各種賞検討委員会	6
学会賞選考委員会	1
村上記念賞等各賞の選考委員会	20
フェロー選考委員会	1
支部会議	28

諸 集 会	開催回数
名誉員推戴式	1
各賞贈呈式	2
フェロー認定式	1
講演大会	2
シンポジウム	2
セミナー・基礎講座	7
研究会	15
研究グループ	1
企業説明会	0
支部講演会・講習会等	64
支部研究会等	31
支部見学会	2
支部表彰式	11

(2) 他学協会等連携事業

諸 会 議	開催回数
Materials Transactions共同編集委員会	3
材料戦略委員会	0
材料戦略委員会企画委員会	0
男女共同参画合同委員会	1
奨学賞贈呈式	37
World Materials Day Award Winner授賞式	1
KIM/JIMシンポジウム	0

公益社団法人 日本金属学会
2022年度収支予算書

2022年3月1日から2023年2月28日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度予算額	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	25,105,198	25,104,052	1,146	
特定資産受取利息	25,105,198	25,104,052	1,146	
退職給付引当資産	693,338	693,298	40	
減価償却引当資産	82	76	6	
刊行事業資金	6,391,000	6,391,000	0	
刊行事業拡充賛助寄付資金	1,286	1,286	0	
講演会・講習会事業資金	5,991,625	5,991,625	0	
調査・研究事業資金	5,290,464	5,290,464	0	
調査・研究事業拡充資金	6,000	5,000		
国際学術交流資金	1,734,000	1,734,000	0	
国際会議準備資金	550	450		
表彰・奨励事業資金	1,050,000	1,050,000	0	
学会賞資金	235,503	235,503	0	
研究技術功労賞資金	119,000	119,000	0	
奨励賞・奨学賞等資金	841,950	841,950	0	
谷川・ハリス賞資金	255,000	255,000	0	
増分量賞資金	595,000	595,000	0	
村上賞資金	1,900,400	1,900,400	0	
受取入会金	120,000	120,000	0	
受取入会金	120,000	120,000	0	
受取会費	64,990,000	67,190,000	-2,200,000	
正員受取会費	34,100,000	33,800,000	300,000	
学生員受取会費	3,080,000	3,280,000	-200,000	
維持員受取会費	26,600,000	28,900,000	-2,300,000	口数減
外国会員受取会費	1,210,000	1,210,000	0	
事業収益	85,773,734	89,553,529	-3,779,795	
刊行事業収益	49,541,734	54,774,529	-5,232,795	
会報購読費収益	1,728,150	1,978,785	-250,635	
会誌購読費収益	3,947,933	3,947,933	0	
欧文誌購読費収益	9,796,073	10,714,353	-918,280	購読数減
会報別刷等収益	3,969,000	3,969,000	0	
会誌別刷・審査収益	390,000	660,000	-270,000	
欧文誌別刷・審査収益	21,912,000	24,720,000	-2,808,000	掲載論文数減
刊行事業広告収益	4,140,000	4,140,000	0	
講座・現代の金属学収益	0	2,029,637	-2,029,637	単行本収益に統合
金属化学入門シリーズ収益	0	2,067,267	-2,067,267	単行本収益に統合
単行本収益	3,158,578	47,555	3,111,023	講座・現代の金属学収益および金属化学入門シリーズ収益を統合
著作権料収益	500,000	500,000	0	
講演会・講習会事業収益	35,560,000	33,435,000	2,125,000	
講演大会参加費収益	23,890,000	25,140,000	-1,250,000	参加者減
講演概要集収益	0	0	0	概要集発行停止
講演大会懇親会参加費収益	1,050,000	480,000	570,000	秋期大会懇親会開催
金属学会シンポジウム参加費収益	1,800,000	900,000	900,000	シンポジウム開催増
金属学会シンポジウム予稿集収益	10,000	10,000	0	
セミナー参加費収益	3,590,000	1,530,000	2,060,000	セミナー開催増、オンライン教育講座開催
セミナーテキスト収益	30,000	30,000	0	
講演会・講習会事業広告収益	3,110,000	3,185,000	-75,000	
講演会・講習会事業収益	0	0	0	企業説明会なし
支部講演会・講習会事業収益	1,600,000	1,600,000	0	
講演会・講習会事業委託収益	480,000	560,000	-80,000	
調査・研究事業収益	0	0	0	
調査・研究事業収益	0	0	0	
表彰・奨励事業収益	672,000	1,344,000	-672,000	
審査・投稿料収益	672,000	1,344,000	-672,000	新技術・新製品投稿数減
受取補助金等	500,000	500,000	0	
受取国庫助成金	500,000	500,000	0	
受取地方公共団体補助金	0	0	0	
受取地方公共団体助成金	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取寄付金	10,000,000	10,000,000	0	
受取寄付金	10,000,000	10,000,000	0	刊行事業拡充賛助寄付資金から振替
雑収益	151,070	50,630	100,440	
受取利息	1,000	560	440	
雑収益	150,000	50,000	100,000	
支部受取利息・雑収益	70	70	0	
経常収益計	186,640,002	192,518,211	-5,878,209	

科目	当年度	前年度予算額	増減	備考
(2) 経常費用				
事業費	171,790,972	172,867,910	-1,076,938	
刊行事業費	80,009,402	84,019,662	-4,010,260	
給料手当	24,300,000	24,930,000	-630,000	派遣なし
退職給付費用	1,561,000	1,561,000	0	
福利厚生費	4,031,500	4,195,000	-163,500	
会報刊行費	33,698,206	29,857,726	3,840,480	カラーページ増
会誌刊行費	2,452,024	3,421,399	-969,375	冊子隔月発行
欧文誌刊行費	12,592,672	14,680,537	-2,087,865	掲載数減
学術図書類刊行費	1,374,000	5,374,000	-4,000,000	増副減
講演会・講習会事業費	53,309,930	48,488,650	4,821,280	
給料手当	14,580,000	14,958,000	-378,000	
退職給付費用	936,600	936,600	0	
福利厚生費	2,418,900	2,517,000	-98,100	
講演大会開催費	24,662,000	20,592,900	4,069,100	現地開催会場費
講演大会懇親会費	1,040,000	1,300,000	-260,000	
本多記念講演開催費	128,800	117,640	11,160	
金属学会シンポジウム開催費	2,739,540	1,394,770	1,344,770	シンポジウム開催増
セミナー開催費	1,835,090	1,702,740	132,350	
国際会議開催費	0	0	0	
支部講演会・講習会開催費	4,969,000	4,969,000	0	
調査・研究事業費	28,544,740	29,210,388	-665,648	
給料手当	2,430,000	2,493,000	-63,000	
退職給付費用	156,100	156,100	0	
福利厚生費	403,150	419,500	-16,350	
関連団体連携事業費	21,500	1,500	20,000	
日本工学会費	247,540	377,126	-129,585	
材料戦略委員会費	10,000	10,000	0	
科研費委員会費	1,000	1,000	0	
人材育成委員会費	140,000	140,000	0	
男女共同参画委員会費	100,000	170,000	-70,000	
調査研究委員会費	2,918,450	3,824,500	-906,050	Web会議
研究会費	3,500,000	2,200,000	1,300,000	産学協創研究会開始
研究助成費	15,000,000	15,000,000	0	
企画委員会費	2,000	1,107,875	-1,105,875	Web会議
セルフガバナンス委員会費	10,000	83,500	-73,500	
国際学術交流委員会費	1,751,000	1,372,288	378,713	
支部調査・研究事業費	1,854,000	1,854,000	0	
表彰・奨励事業費	9,926,900	11,149,210	-1,222,310	
給料手当	2,430,000	2,493,000	-63,000	
退職給付費用	156,100	156,100	0	
福利厚生費	403,150	419,500	-16,350	
名誉員費	251,700	232,000	19,700	
各種賞検討委員会費	2,256,550	1,544,350	712,200	Web会議
学会賞費	583,850	1,037,110	-453,260	授賞内容見直し
学術貢献賞費	0	1,000	-1,000	
学術功労賞	0	0	0	
技術賞費	115,400	80,090	35,310	
技術開発賞費	321,900	1,374,560	-1,052,660	授賞数減
金属組織写真賞費	72,200	320,550	-248,350	
研究技術功労賞費	693,900	557,500	136,400	
功績賞費	143,250	158,900	-15,650	
功労賞費	0	0	0	
奨励賞・奨学賞等費	330,900	408,650	-77,750	
谷川・ハリス賞費	59,700	61,300	-1,600	
増本量賞費	204,350	212,350	-8,000	
まてりあ賞	5,100	4,700	400	
村上賞費	1,155,750	1,633,750	-478,000	授賞内容見直し
論文賞費	525,750	203,100	322,650	
フェロー費	4,350	37,700	-33,350	
支部表彰・奨励事業費	213,000	213,000	0	
管理費	21,123,800	22,764,100	-1,640,300	
給料手当	4,860,000	4,986,000	-126,000	
退職給付費用	312,200	312,200	0	
福利厚生費	806,300	839,000	-32,700	
会議費	700,000	869,000	-169,000	
旅費交通費	1,500,000	1,500,000	0	
通信運搬費	800,000	1,311,000	-511,000	電子化
減価償却費	161,000	189,200	-28,200	
消耗什器備品費	280,600	45,000	235,600	
消耗品費	4,750,000	5,458,000	-708,000	広報費用4,500,000円を計上
修繕費	10,000	10,000	0	

印刷製本費	500,000	530,000	-30,000
光熱水料費	41,500	41,500	0
賃借料	528,000	528,000	0
保険料	13,000	13,000	0
諸謝金	20,000	18,000	2,000
租税公課	3,200,000	3,327,000	-127,000
送金手数料	119,000	119,000	0
支払負担金	50,000	123,000	-73,000
システム管理費	390,000	478,000	-88,000
委託費	1,582,200	1,567,200	15,000
雑費	500,000	500,000	0
経常費用計	192,914,772	195,632,010	-2,717,238
評価損益等調整前経常増減額	-6,274,770	-3,113,799	-3,160,971
評価損益等	0	0	0
当期経常増減額	-6,274,770	-3,113,799	-3,160,971

2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-6,274,770	-3,113,799	-3,160,971	
一般正味財産期首残高	1,074,545,441	1,060,813,360	13,732,081	
一般正味財産期末残高	1,068,270,671	1,057,699,561	10,571,110	
II. 指定正味財産増減の部				
特定資産受取利息	1,900,400	1,900,400	0	
未経過償還差額金の償却額	30,380	30,380	0	
刊行事業拡充賛助寄付金	50,000	50,000	0	
一般正味財産への振替額	11,980,780	11,900,400	80,380	10,000,000円を受取寄付金へ振替
当期指定正味財産増減額	-10,000,000	-9,919,620	-80,380	
指定正味財産期首残高	436,923,926	446,974,926	-10,051,000	
指定正味財産期末残高	426,923,926	437,055,306	-10,131,380	
III. 正味財産期末残高	1,495,194,597	1,494,754,867	439,730	

(注) 1. 小科目の対前年度予算額比50万円超の増減の理由および補足説明を備考欄に記載した。

2. 人件費の配賦率は、刊行事業50%、講演会・講習会事業30%、調査・研究事業5%、表彰・奨励事業5%、法人会計10%としている。

2022年度収支予算書内訳表

2022年3月1日から2023年2月28日まで

(単位：円)

科 目	公 益		目 的		事 業		法 人 会 計	内 部 取 引 消 去 合 計
	刊 行 事 業	講 演 会 ・ 講 習 会 事 業	調 査 ・ 研 究 事 業	表 彰 ・ 奨 励 事 業	共 通 小 計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
特定資産運用益	6,392,286	5,992,175	7,030,464	4,996,853	624,078	25,035,856	69,342	25,105,198
特定資産受取利息	6,392,286	5,992,175	7,030,464	4,996,853	624,078	25,035,856	69,342	25,105,198
受取入会金	0	0	0	120,000	0	120,000	0	120,000
受取入会金	0	0	0	120,000	0	120,000	0	120,000
受取会費	0	0	0	0	45,493,000	45,493,000	19,497,000	64,990,000
正員受取会費	0	0	0	0	23,870,000	23,870,000	10,230,000	34,100,000
学生員受取会費	0	0	0	0	2,156,000	2,156,000	924,000	3,080,000
維持員受取会費	0	0	0	0	18,620,000	18,620,000	7,980,000	26,600,000
外国会員受取会費	0	0	0	0	847,000	847,000	363,000	1,210,000
事業収益	49,541,734	35,560,000	7,030,464	672,000	0	85,773,734	0	85,773,734
刊行事業収益	49,541,734	0	0	0	0	49,541,734	0	49,541,734
講演会・講習会事業収益	0	35,560,000	0	0	0	35,560,000	0	35,560,000
調査・研究事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0
表彰・奨励事業収益	0	0	0	672,000	0	672,000	0	672,000
受取補助金等	500,000	0	0	0	0	500,000	0	500,000
受取国庫体助成金	500,000	0	0	0	0	500,000	0	500,000
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	10,000,000	0	0	0	0	10,000,000	0	10,000,000
受取寄付金	10,000,000	0	0	0	0	10,000,000	0	10,000,000
雑収益	0	0	0	0	151,070	151,070	0	151,070
受取利息	0	0	0	0	1,000	1,000	0	1,000
雑収益	0	0	0	0	150,000	150,000	0	150,000
支部受取利息・雑収益	0	0	0	0	70	70	0	70
経常収益計	66,434,020	41,552,175	7,030,464	5,788,853	46,268,148	167,073,660	19,566,342	186,640,002
(2) 経常費用								
事業費	80,009,402	53,309,930	28,544,740	9,926,900	0	171,790,972	0	171,790,972
給料手当	24,300,000	14,580,000	2,430,000	2,430,000	0	43,740,000	0	43,740,000
臨時雇賃金	0	2,616,500	135,000	127,000	0	2,878,500	0	2,878,500
退職給付費用	1,561,000	936,600	156,100	156,100	0	2,809,800	0	2,809,800
福利厚生費	4,031,500	2,418,900	403,150	403,150	0	7,256,700	0	7,256,700
会議費	75,600	6,924,230	1,633,900	256,500	0	8,890,230	0	8,890,230
旅費交通費	362,000	4,913,000	5,540,000	1,686,500	0	12,501,500	0	12,501,500
通信運搬費	8,747,820	1,398,000	180,000	28,000	0	10,353,820	0	10,353,820
減価償却費	805,000	483,000	80,500	80,500	0	1,449,000	0	1,449,000

科 目	公 益 目 的 事 業 会 社					法 人 会 社	内 部 取 引 消 去	合 計
	刊 行 事 業 講 演 会 ・ 講 習 会 事 業 調 査 ・ 研 究 事 業 表 彰 ・ 奨 励 事 業 共 通 小 計	公 益 目 的 事 業 会 社	事 業 表 彰 ・ 奨 励 事 業 共 通 小 計	法 人 会 社	内 部 取 引 消 去			
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	13,575,382	11,757,755	21,554,740	4,138,047	-51,025,924	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	40,464	0	-4,757,776	-1,557,458	0	-6,274,770
一般正味財産期首残高	305,000,000	334,828,272	269,918,654	60,000,000	58,044,869	46,753,646	0	1,074,545,441
一般正味財産期末残高	305,000,000	334,828,272	269,959,118	60,000,000	53,287,093	45,196,188	0	1,068,270,671
II 指定正味財産増減の部								
特定資産受取利息	0	0	0	1,900,400	0	0	0	1,900,400
未経過償還差額金の償却額	0	0	0	30,380	0	0	0	30,380
刊行事業拡充費助寄付金	50,000	0	0	0	0	0	0	50,000
一般正味財産への振替額	10,000,000	0	0	1,900,400	0	0	0	11,900,400
当期指定正味財産増減額	-9,950,000	0	0	30,380	0	0	0	-9,919,620
指定正味財産期首残高	118,600,000	0	102,000,000	216,454,306	0	437,054,306	0	437,054,306
指定正味財産期末残高	108,650,000	0	102,000,000	216,484,686	0	427,134,686	0	427,134,686
III 正味財産期末残高	413,650,000	334,828,272	371,959,118	276,484,686	53,287,093	45,196,188	0	1,495,405,357

(注)会費収益の7割を公益目的事業会計に、3割を法人会計に配賦した。

事業 年度	自	令和4年3月1日	法人コード	A020813
	至	令和5年2月28日	法人名	公益社団法人日本金属学会

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定		なし		
事業 区分	番号	借入先	金額	用途
			円	
			円	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		なし		
事業 区分	番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の用途
			円	
			円	